

令和元（2019）年度 栃木県浙江省友好交流員レポート(9月)

はじめに

令和元年度栃木県浙江省友好交流員として、今回浙江省に派遣されました工藤瑠璃(くどうるり)です。この9月から計6回に及ぶレポートを毎月報告させていただきます。内容としては、私の中国での生活の様子が主になります

浙江大学

まずは、私を含め留学生の多くが生活している場所について紹介したいと思います。留学生のうち語学生（語学留学生）の多くは、浙江大学玉泉キャンパス国際教育大樓で寮生活をしており、この国際教育大樓と隣の31楼で主に授業を受けています。

9月11日から授業が始まり、平日の多くは午前8時から授業が始まります。今はこの生活リズムにも徐々に慣れてきたところです。

クラスは、1、1.5、2、2.5、3、3.5、4、4.5、5、5.5、6と細かくレベル分けされており、1～2.5までは英語、3以上は中国語を使った授業を行っています。そのためクラスメートとのコミュニケーションを深めるためにも、中国語の上達が大いに重要であると感じています。とはいえ、外国のクラスメートは大変積極的かつ優しく話しかけてくれるので中国語でのコミュニケーションを会話の中で練習しながら、上達を目指したいと思っています。



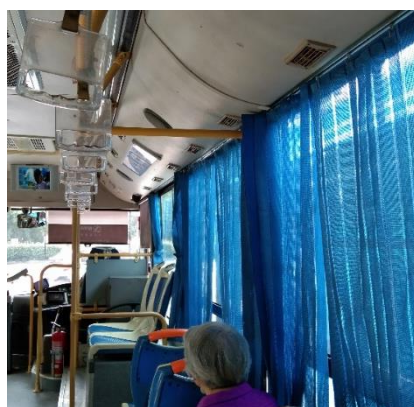
浙江省(中国)での生活

中国では、支払いの多くがアリペイや We chat で行われています。私たちが暮らす浙江省にはアリペイの本社があるため、浙江省政府が地元企業を支援していることもあり、アリペイが多く使われています。買い物、バス、地下鉄、洗濯機、公共料金の支払いに至るまで、アリペイを利用します。私たち留学生が生活していくためにも、アリペイは欠かせないものです。

アリペイを使うためにまず必要なことが中国で利用できる携帯電話番号の獲得です。携帯電話番号はSIMカードと一体になっています。携帯電話番号を獲得した後に銀行口座を作ります。

銀行口座を作るために必要な書類は、銀行によって異なっていたり、必要書類が日々更新されているため、銀行を往復するなど、かなり苦戦しました。そのため、銀行口座を作ることができた際の喜びは大変大きなものでした。喜びのあまり、栃木県、福井県、静岡県の皆さんと銀行の前で記念撮影をしてしまうほどでした。

その後の生活ではアリペイが大活躍しています。今後も私がまだ知らない利用方法を学び、活用していきたいと考えています。



銭塘江の逆流

銭塘江は、浙江省を流れる全長 494 キロメートルの大河で杭州湾に注いでいます。浙江とも呼ばれ浙江省の名の起源となっていて、これは銭塘江に屈曲が多いためと言われています。

今回は大潮の際に海水が逆流する現象を見ることができました。この現象を見ることができる場所はいくつかありますが、今回は海寧市の塩官観潮勝地公園で見ました。生で見る銭塘江は川幅が広く、海のような様子でした。逆流は予想していたよりもゆっくりと穏やかな流れでしたが、手前から向こう岸まで一直線に大きな波が来る様子は壮大で圧倒されました。

また、中国の方たちにとっても、銭塘江の逆流は一大イベントのようで、たくさんの人が集結し、今か今かと逆流を待っている際には、大人も子供も夢中になって体を乗り出していました。また、テレビ局も特別番組のようなものを放送するようで、数多くの音響機器、カメラを見かけました。

中国人学生との交流

私は幸福なことに、浙江省に着いて一週間足らずで、中国人の学生と知り合うことができました。(写真中央の女性です。)彼女は日本への旅行経験があり、日本と日本語に対して関心がある方で、つたない中国語しか話せない私に対して、とても親切に浙江大学のこと、周辺の西湖や数多くの公園、飲食店、映画のチケットの買い方などの案内をしてくれました。彼女の助けのおかげで、この短い期間でたくさんの素敵な経験をすることができました。

栃木県浙江省友好交流員
工藤 瑠璃

